



年 組 名前

# 道新 ワークシート

## 卓上四季

集団の中で疑問を感じても口に出せない。そんな閉塞感へいさくかんを覚える方も多いのではないか。在職期間や年齢などで先輩を重んじる。日本社会特有の風潮の根源を論じたのが、94歳で亡くなった人類学者中根千枝さんであった▼「タテ社会の人間関係」を世に出したのは1967年のこと。個々人の属性である「資格」よりも同じ職場といった「場」の共有を重視する。そんな日本の社会構造を、徹底した現地調査を通じてあぶり出した▼階層化されたカースト社会のインドでは「ヨコ」のつながりで連帯する人々の姿に触れ、教授会や漁村の寄り合いに潜む日本の「タテ」の結びつきに気づいた。その功績は世界に認められ、女性初の東大教授に道を開いた▼タテの序列意識が強い社会では、本来上位にあるはずの法律などより、場のルールのような社会的規制が優先されてしまう。恐ろしいのは、集団の新参者が常に下位となり、活力が失われることばかりではない▼「こうした世界になれていると、法のきびしさを忘れがちである。否、知らないで過ごすことも可能である」(「タテ社会の力学」講談社学術文庫)。忖度そんたくが横行する今日の惨状も不可避だったのだろうか▼長時間労働やいじめ、虐待の問題についても逃げ場のない封鎖的な集団に属することに原因があると指摘していた。「場は一つとは限らない」。縛られる人々へのエールである。 2021.11.9

2021年11月9日 (火) 朝刊 全道版 1ページ

①日本社会特有の風潮とありますが、それはどのようなことですか。

②タテの序列意識が強い社会では、何よりも何が優先されると記事で紹介されていますか。

③自分が知っている「タテ社会」と、その「タテ社会」での「場のルール」を書きましょう。

(タテ社会)

(場のルール)